

幸区



■人口 170,873人 ■世帯数 80,310世帯
■面積 10.09 km² (令和3(2021)年10月1日現在)

幸区の木



「ハナミズキ」

幸区の花



「ヤマブキ」

1 幸区の概要

- 幸区は、市の南東部に位置し、市内で最も面積が小さく人口密度が2番目に高い区です。区域は、北から東に流れる多摩川を挟んで東京都大田区と、西から南に流れる矢上川と鶴見川を挟んで横浜市鶴見区、港北区と隣接しています。区の中央にはJR南武線と横須賀線が南北に通っており、JR川崎、尻手、鹿島田、新川崎の4駅が立地するほか、国道1号と国道409号が交差するなど、交通利便性の高さが大きな特徴です。
- 区の名前は、明治17(1884)年に明治天皇が観梅のため行幸したことに由来する「御幸村」の村名を継承し、「幸多い」地域になって欲しいという地域の人々の願いを込めて、昭和47(1972)年の区制実施時に「幸区」と名付けられました。区役所庁舎は、昭和50(1975)年に現在地に建てられ、40年後の平成27(2015)年には新たな庁舎に生まれ変わり、「地域コミュニティの拠点」、「地域防災の拠点」等として重要な役割を担っています。
- 幸区の区域は、かつて水田を中心とした農村地帯でしたが、明治期には工場の進出が始まり、戦後の高度経済成長期には公営住宅や社宅が多数建設され、人口が急増しました。昭和40年代以降、工場の移転が進み、跡地には大型共同住宅や大規模商業施設などが建設されました。
- 川崎駅西口周辺には世界的な音楽ホールであるミュージア川崎シンフォニーホールや東芝未来科学館、ラゾーナ川崎プラザ、高層集合住宅等が立地するほか、複合型街区「カワサキデルタ」など、市の新たな顔としてのまちづくりがさらに進んでいます。
- 新川崎・鹿島田駅周辺などでは、大規模マンション等の建設が引き続き進められており、今後も人口の増加が見込まれています。
- 都市化が進む中で、区の西部には、「加瀬山」の名前で親しまれ、地域の歴史にもふれられる自然の中に夢見ヶ崎公園が立地し、地域住民の憩いの場となっています。

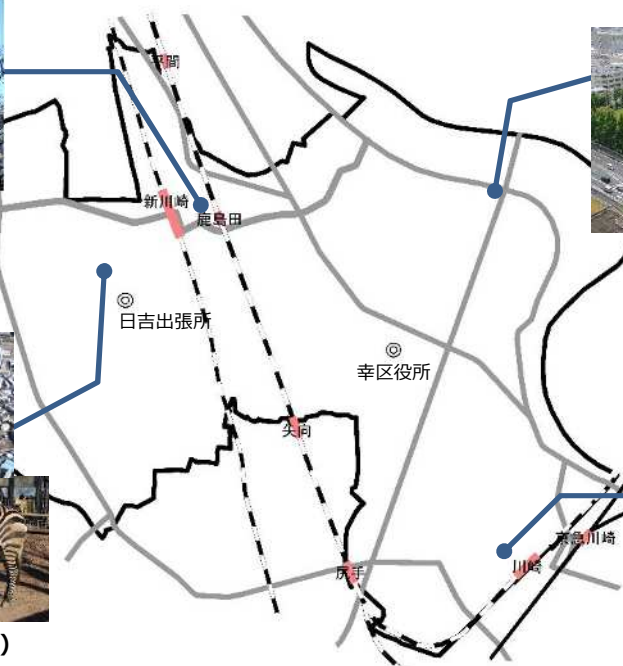
幸区的主要地域資源・魅力など



新川崎・鹿島田駅周辺



加瀬山(夢見ヶ崎公園)



御幸公園の梅



川崎駅西口周辺

2 まちづくりの方向性

「しあわせあふれるまち さいわい」

- 幸区は、緑の中で動植物とのふれあいや歴史を感じることができる加瀬山や、うるおいある水辺の多摩川などの「自然空間」と、ミュージア川崎シンフォニーホールをはじめとした文化・芸術施設や商業・産業などが集積し活気のある「都市空間」が調和したまちです。
- 新たな区民も、これまで暮らしてきた区民も、誰もが地域のつながりや支え合いとともに、魅力あふれる多彩な地域の資源を大切にしながら、地域への愛着や誇りをさらに高め、安らぎと幸せを実感することができるまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

● 地域資源を活かしたまちづくりの推進

区内の自然や、文化・芸術・歴史などの地域資源を活かしなが
ら、区民の地域への愛着と誇りを育てていくため、かつて梅林の名
所であった御幸公園での賑わいと集いの場を育む取組、ミュージア
川崎シンフォニーホールなど、身近な場所で音楽に親しめる環境
づくりといったこれまでの取組に加え、鉄道ビュースポットや絵本作
家かこさとしさんゆかりの地といった新たな区の魅力の発信や、新
たなスポーツとして脚光をあびる e スポーツの活用など、区民や市
民活動団体、企業などのさまざまな主体と協働・連携し、賑わい
と彩り豊かな、魅力あるまちづくりを進めています。



鉄道ビュー
スポット



かこさとしさん
紹介パネル

● 健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

地域住民が住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、町内会・自治会を中心に地域
特性に応じた地域住民主体のみまもりのネットワークづくりを進めています。また、大学等の多様な主体
と連携して地域での自助・互助の活動を広げる取組を進めています。

● 安心して子育てできるまちづくりの推進

子育て家庭のニーズが多様化している現状を踏まえ、個々の家庭の状況に応じたきめ細かな相談・支
援、子育てに関わる方たちが必要としている情報の発信、地域資源とのつながりを作る企画の実施、区
民同士の情報共有の場の提供など、さまざまな取組により地域全体で子育て家庭を支えるまちづくり
を進めています。

● 地域コミュニティ活性化の推進

町内会・自治会への加入促進等を推進するとともに、大規模マンション建設地域における自治会組織
の設立を促し、自治会と既存町内会等との連携の推進を図っています。また、多様な区民が参加・交
流する場づくりや、地域活動団体への支援など、ソーシャルデザインセンターとも連携しながら、地域コミュ
ニティの活性化に向けた取組を推進しています。

● 安全で安心して暮らせるまちづくりの推進

自主防災組織等と連携した地域住民が主体となった実践的な訓練の実施や、区内に立地する企業
や隣接区との防災に関する連携の強化、発災時に地域住民や企業、関係団体・機関、行政等が、そ
れぞれの役割を果たし、迅速かつ的確な対応ができる体制づくりにより、地域の特性を踏まえた地域防
災力の向上を図っています。また、自転車事故防止に向けて、幅広い世代に対して交通安全意識の
向上を図るため、交通安全教室や街頭キャンペーンなどを通じた啓発活動や自転車通行環境の整備
など、ソフト・ハード面の取組を推進しています。

4 現状と課題

●自然や文化などが調和し、魅力ある地域資源がたくさんあります。

- 貴重な自然が残る加瀬山には、市内唯一の動物園のある「夢見ヶ崎公園」があります。また、「御幸公園」や多摩川など、区民に親しまれる憩いとやすらぎの空間があります。
- 世界的な音楽ホール「ミュージア川崎シンフォニーホール」や、多くの来場者で賑わう「ラゾーナ川崎プラザ」、ビジネス・宿泊・商業機能の大規模複合型街区「カワサキデルタ」などが集まる川崎駅西口周辺、最先端分野の研究開発拠点「新川崎・創造のもり」など、魅力あふれる地域資源があり、こうした資源を活かしながら、区民の地域への愛着と誇りをさらに高めていくことが求められています。



夢見ヶ崎動物公園



川崎駅西口周辺

●高齢化率が 21%を超えており、50%を超える地区もあります。

- 区全体の高齢化率は 21.5%（令和 3（2021）年 3 月末現在）と、全市平均の 20.0%を上回り、超高齢社会の水準である高齢化率 21%を超えています。また、町丁ごとに見ると、50%を超える地区もあります。
- ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も増加を続けており、要介護高齢者や認知症高齢者も増えています。こうした支援を必要とする高齢者などが増加する中、地域のつながりが強い幸区の特徴を活かした地域包括ケアシステムの構築に向け、身近な地域で多様な主体が連携した、自助・互助の取組が求められています。

65 歳以上人口比率（上位 5 町丁）
（令和 3(2021)年 3 月現在）

	町丁名	割合
1	河原町	54.4%
2	小倉	33.9%
3	東古市場	30.4%
4	古市場	29.4%
5	古市場 2 丁目	28.9%
	（幸区平均）	21.5%
	（全市平均）	20.0%

●子育て家庭が増加し、ニーズも多様化しています。

- 大規模マンションへの子育て世帯の転入等に伴い、区内の子どもの人口が増加しています。
- 共働き家庭の保育ニーズの高まりや、核家族化による子育てへの不安、孤立感への対応など、多様化する子育て家庭のニーズに対し、子育て情報の発信や、地域でのつながりを高めていく取組などが求められています。

15 歳未満人口比率（上位 5 町丁）
（令和 3(2021)年 3 月現在）

	町丁名	割合
1	新小倉	31.0%
2	新川崎	27.4%
3	塚越 1 丁目	22.3%
4	戸手 4 丁目	19.2%
5	北加瀬 2 丁目	18.6%
	（幸区平均）	13.5%
	（全市平均）	12.6%

●大規模マンションの建設などにより、新たな区民が増えています。

- 新川崎・鹿島田駅周辺など、大規模マンションの建設が進む地域では、新たに転入した区民と以前から暮らしている区民との交流や、地域でともに支え合う意識の醸成などが求められています。
- 区内の町内会・自治会への加入率は65.2%（令和2（2020）年4月1日現在）と全区で最も高い水準にあるものの、近年、低下の傾向にあり、役員の高齢化や後継者不足などの課題も抱えています。
- 身近な課題を地域で解決するためには、住民相互の連携による自主的で活気に満ちた地域コミュニティの実現が必要であり、町内会・自治会や市民活動団体の取組への支援や、多様な主体の連携により、市民創発によって課題解決をする区域レベルの「新たなしくみ」が求められています。



新川崎・鹿島田駅周辺のマンション

●地域防災力の強化など、安全・安心への区民の意識が高まっています。

- 令和2（2020）年度区民アンケート調査において、10年後のめざすべきまちとして、「地震や大雨などの災害に強いまち」や「防犯・交通安全など安全・安心な暮らしのできるまち」が上位に挙げられています。
- 令和元年東日本台風や、新たな都市型水害などにより、区民の地域防災力強化への意識が一層高まっています。さらに、新型コロナウイルス感染症流行の経験を踏まえ、事業の実施にあたっては、必要な感染症対策が求められています。



避難所開設訓練

5 計画期間の主な取組

地域資源を活かしたまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 区内の自然や、文化・芸術・歴史などの地域資源を活かした地域への愛着と誇りを育む取組の実施
- 区民や市民活動団体、企業などのさまざまな主体と協働・連携した、賑わいと彩り豊かな、魅力あるまちづくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
御幸公園梅香事業 区名の由来にもなっている御幸公園の梅林を活用し、市制100周年に向け、梅の植樹や公園の多目的利用による区の魅力向上・情報発信を行うとともに、歴史文化の伝承などに関する取組を推進します。また、緑を通じて地域住民や学校・企業など様々な主体との連携・協働を推進し、賑わいと彩り豊かな集いの場を創造するとともに持続可能な施設運営のしくみの構築をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民や学校等と連携した取組の推進 ・地域住民との協働による梅林の復活や植樹の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティア・企業との協働による梅林の維持管理に係るしくみの構築 ・御幸公園梅香事業推進会議 ・学校等と連携した公園の魅力発信 ・寄附・募金を活用した梅の植樹・維持管理 ・公園の利活用の促進や隣接施設との連携による地域コミュニティ活性化
花と緑のさいわい事業 区内の緑化推進と区民の緑化意識の高揚を図るとともに、区民同士の交流を促進するため、花と緑の潤いのあるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 区内の緑化推進 ・区内で緑化活動を行う団体への花苗等の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・花苗等の配布を通じた緑化活動団体の支援
さいわい音楽推進事業 ミューザ川崎シンフォニーホールなどの地域資源を活用し、区民が身近な場所で良質な生の音楽に親しめる環境をつくり、音楽を通じて多様な区民の多彩な文化、芸術活動が創出され、区民が地域に愛着と誇りをもてる、活力と魅力あるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民や学校と連携した公共花壇の花植え活動の推進 ・緑化活動団体や地域の小中学校等と連携した公共花壇への花植え活動及び維持管理の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化活動団体や学校等と連携した公共花壇の維持管理の取組の推進 ・庁舎前花壇の花植え及び維持管理 ・大師堀公共花壇・夢見ヶ崎公園花壇等の花植え
	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民が身近な場所で気軽に音楽を楽しめる取組の推進 ・区民が身近な場所で気軽に良質な生の音楽を楽しめるイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民に身近な場所で良質な音楽を提供する「夢こんさあと」の開催 ・川崎市にゆかりのある音楽活動団体に世界的な音楽ホールでの演奏の機会を提供する「さいわいハナミズキコンサート」の開催
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「心のバリアフリー」を実現する取組の推進 ・多様な出演者によるコンサートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な出演者を通じて個々のバリアフリーを推進する「はび☆こん～誰もが幸せになるコンサート」の開催

健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進
- 住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、住民主体の自助・互助の取組支援の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
地域包括ケアシステム推進事業 区民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域を実現するため、町内会・自治会を中心に地域住民が主体となり、人と地域のつながりが活発で、見守り支え合う地域づくりを進めます。	●多世代が互に見守り支え合う地域づくりの推進 ・地域ケアシステムの構築に向けた、地域活動の支援 ●「自助」「互助」の意識の醸成と地域課題解決にむけた取組の推進 ・講演会や講座の開催を通じた、地域の意識向上の支援	・町内会・自治会などの小地域単位でご近所支え愛事業や地域特性を活かした自助・互助の活動の支援 ・ソーシャルデザインセンターや大学等の多様な主体と連携し、人と地域のつながりが活発で、見守り、支え合うことのできる地域づくりの推進 ・地域包括ケア推進に関する講演会・講座の開催 ・認知症の方や障害のある方など多様な人が地域でともに暮らすことへの理解を深め、多世代が互に見守り、支え合う取組の推進
健康づくり推進事業 高齢化が進む中で、地域交流や支え合いの促進に向けて、地域活動の担い手として期待される世代に対し、自助・互助の取組や社会参加、健康づくりの普及啓発を推進します。	●主体的な健康づくり活動に向けた普及啓発の推進 ・講演会等を通じた健康づくりグループの活動支援 ・ライフサイクルに応じた健康づくり等に関する情報発信	・自助・互助の取組として発足している住民主体の健康づくり自主グループに対する講演会等を通じた活動支援 ・「50代からのさいわい健幸Book」の作成、講演会の開催を通じた、健康づくり活動に向けた情報発信と普及啓発の推進

見守り・支え合う地域づくりの取組
(ご近所支え愛事業の部会)

地域での健康づくり活動

安心して子育てできるまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 地域全体で子育て家庭を支えるしくみづくりの推進
- 子育て家庭のニーズや個々の家庭の状況に応じたきめ細かな相談や支援の実施

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
総合的な子ども支援ネットワーク事業 区内の子ども・子育て支援団体同士の情報共有と連携強化を図るとともに、情報発信や講演会、「みんなで子育てフェアさいわい」などの事業を通じて、地域で子育てを支援する環境づくりを進めます。	●子ども・子育て支援関係団体同士の情報共有・連携強化 ・子ども総合支援ネットワーク会議を中心とした、子育て支援機関同士の情報共有・連携強化 ●多様な主体が連携して地域で子育てを支援する環境づくり ・子育て家庭と地域の子育て関係機関がつながるイベントの開催	・子ども総合支援ネットワーク会議の開催によるネットワークの強化等を通じた、新たな活動へのきっかけづくりと、子育て団体や子育てサークル同士の情報共有と連携の推進 ・情報誌（子ども情報ネットさいわい）の発行を通じた、学齢児童等の地域への関心の増進 ・子育て家庭に必要な情報を伝える「子ども・子育て講演会」の開催 ・子育て世帯が地域を知り、つながるきっかけをつくる「みんなで子育てフェアさいわい」を地域の子育て支援団体や企業等と連携して開催
子ども・子育て支援事業 子育て関連情報の提供、公園を活用した子育て交流の場の提供、中高生向け地域ボランティア等各種事業を通じ、区民の子ども・子育て支援に取り組めます。	●子ども・子育て情報の収集及び発信 ・区民との協働による子育て情報誌の発行及び編集と通じた情報発信と収集 ●公園等の活用による子育て世帯や子ども同士が遊びながらつながりをつくる環境づくり ・地域に身近な公園を活用した乳幼児から学齢期までの子どもの外遊び事業の実施 ●中高生向け地域活動ボランティアによる若者の地域へのつながりの推進 ・中高生が地域への愛着を持ち、自身の幸福度向上につながる契機としてのボランティア活動への支援	・区民との協働による子育て情報誌「おこさまぶがさいわい」の作成・発行を通じた、子育てに係る情報・ニーズの収集と、区民へ向けた効果的な情報発信 ・区内公園等を活用した乳幼児向けの外遊びによる交流の場づくり ・区内公園等を活用した学齢児向けのプレーパークの実施 ・中高生向けの地域活動ボランティア「さいわいはっぴーボランティア（はっぴ☆ボラ）」の展開と地域の課題解決に向けたきっかけづくりの推進



子ども総合支援ネットワーク会議

みんなで子育てフェアさいわい
(スタンプラリー)さいわいはっぴーボランティア
(はっぴ☆ボラ)

地域コミュニティ活性化の推進

主な取組の方向性

- 大規模マンション建設地域における自治会組織の設立支援や町内会・自治会への加入促進の実施
- 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」等に基づく、多様な区民が参加・交流する場づくりへの支援などの、地域コミュニティの活性化に向けた取組の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
地域コミュニティ推進事業 地域社会において重要な役割を担う町内会・自治会などの地域団体が安定的に地域活動に取り組み、暮らしやすい地域社会の構築に寄与する取組を推進します。	●町内会・自治会活動の活性化に向けた取組の推進 ・町内会・自治会に対する支援制度の周知・活用支援自治会等への加入促進を図る取組の実施	●町内会・自治会活動の活性化に向けた取組の推進 ・ホームページ等による情報発信や、区独自のチラシの作成・配布を通じた町内会・自治会への加入促進を図る取組の実施 ・ソーシャルデザインセンターとの連携による地域団体の活性化支援 ・他団体との交流イベント開催による地域活性化 ・活性化講座による町内会・自治会役員のスキルアップ支援 ・補助金制度を活用した活性化のための支援
	●大規模マンションの建設増に伴う町内会・自治会組織設立のための支援等の検討・推進 ・大規模マンションが建設された際の自治会の設立支援	●大規模マンションの建設増に伴う町内会・自治会組織設立のための支援等の検討・推進 ・大規模マンションが建設された際の自治会の設立支援
スポーツ推進事業 地域で活動するスポーツ関係団体等の多様な主体と連携して地域の交流を促進し、誰もがスポーツに親しめる地域づくりを進めます。	●多様な主体の連携による地域スポーツの推進 ・気軽にスポーツに親しめる機会の充実 ・暮らしに身近なパラスポーツの振興	●多様な主体の連携による地域スポーツの推進 ・地域のスポーツ施設やスポーツ関係団体等と連携して、気軽にスポーツに親しむきっかけづくりとしての多世代交流行事の実施 ・年齢や障害の有無にかかわらずスポーツに親しめる機会の充実に向けて、地域の関係団体等と連携して、パラスポーツの大会や講習会等の実施
	●地域主体のスポーツ活動の活性化に向けた取組の推進 ・地域のスポーツ大会における区の協賛等の実施	●地域主体のスポーツ活動の活性化に向けた取組の推進 ・地域のスポーツ活動団体と連携し、協賛や区長賞等の授与を行うことによる、身近な機会でのスポーツの普及促進



町内会・自治会向けの活性化講座

さいわいソーシャルデザインセンター
(まちのおと)

小学校でのポッチャ体験会

安全で安心に暮らせるまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 自主防災組織等と連携した訓練の実施や、区内に立地する企業や隣接区との連携強化による地域防災力の向上
- 自転車事故等の防止など、交通安全普及に向けた啓発活動の実施

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
幸区災害対策推進事業 訓練の運営支援や講座等の開催による自主防災組織・避難所運営会議の活性化、地域住民や企業、関係団体・機関等との連携による実践的な総合防災訓練の実施、区本部・避難所の防災資器材の充実など、区内の防災基盤整備の取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所開設・運営訓練の運営支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・訓練の運営支援等による、地域の防災力の強化 ● 自主防災組織を中心とした地域の防災力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織等の活性化に資する講座等の開催 ● 防災資器材の配備、感染症対策物資の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・防災用資器材の購入・配備 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営会議の開催、訓練の実施 ・「幸区防災講演会」の開催 ・幸区防災マップの発行 ・防災用資器材の購入・配備
交通安全普及啓発事業 区内での自転車関連事故等の現状を踏まえて、幅広い世代に対して交通安全意識の向上を図るため、交通安全教室などを通じて、交通安全知識の習得などを目的とした啓発活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校等での交通安全教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代に対する交通安全教室等を通じた交通安全知識の啓発 ● 関係団体と連携した啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全期間中及び各強化月間における啓発活動の実施 ● 交通安全実地指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体から区内各所の交通安全についての要望に対して、適宜、対策を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察及び関係団体と連携した各種交通安全教室の実施 ・中学校、高校等におけるスクエアストレート方式の交通安全教室の実施 ・警察及び関係団体と連携した交通安全キャンペーン等の啓発活動の実施 ・警察等と連携して要望があった箇所での実地指導を実施 ・各種団体からの要望を受けるための会議等を開催



避難所開設訓練



帰宅困難者受け入れ訓練



登下校時の見守り活動

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標
			令和3（2021） 年度	令和4～7（2022～2025） 年度
幸区				
地域資源を活かしたまちづくりの推進				
	さいわいものづくり体験事業	新川崎・創造のもりなど、研究開発施設等が集積した幸区の特徴を活かした子ども向け科学体験イベントを実施します。	●科学体験イベントの実施	
	地域の魅力発信事業	貴重な地域資源である夢見ヶ崎公園や鉄道ビュースポット、絵本作家かこさとしさんゆかりの地といった区の魅力について、その魅力を高めるとともに区民に発信します。	●夢見ヶ崎公園を活用した魅力発信の推進 ●鉄道ビュースポットやかこさとしさんゆかりの地といった区の魅力発信	
	地域資源を活かしたまちづくり事業	日吉地区で活動するさまざまな団体のネットワークにより、地域固有の資源を活用した身近なまちづくりを進めます。	●日吉のタカラモノ活用事業の実施	
	さいわい・はじめようエコ事業	子ども向けイベントの開催や環境啓発パネルの活用など、多様な年齢に即した意識啓発活動を推進します。	●子ども向け環境啓発イベントの実施	
	さいわいガイドマップ発行事業	ガイドマップの発行を通じて、転入者等へ区民生活に必要な情報を提供し、地域理解の促進を図ります。	●「さいわいガイドマップ」の作成・配布	
健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進				
	地域の保健福祉情報発信事業	区における地域包括ケアシステムや保健福祉に関する情報を効果的に区民に届け、区民の関心と理解を深めます。	●保健福祉に関する効果的な情報発信	
	さいわい動物愛護推進事業	動物愛護思想の普及啓発を行うことにより、人と動物の共生を図ります。	●動物愛護思想の普及	
安心して子育てできるまちづくりの推進				
	保育所等活用事業	民間保育所を含む区内の保育所等を活用して、地域への子育て支援や、子育て支援者の育成等を進めます。	●区内保育所等における地域子ども・子育て支援事業の実施	
	幸区子ども学習サポート事業	関係団体とボランティアが連携して、外国につながる小・中学生への学習支援活動と居場所づくりを行います。	●外国につながる小・中学生への学習支援と居場所づくり	
	児童虐待防止・子ども相談支援事業	関係機関との会議や研修会、講座の開催を通じて、要保護児童の早期把握に努めるとともに、孤立感や不安感なく安心して子育てができる地域づくりを進めます。	●要保護児童対策地域協議会幸区実務者会議等の実施 ●子ども・子育てに関する相談と支援の実施	
	幸区待機児童対策事業	多様な保育事業に関する情報提供を行い、保育の選択肢を広げ、利用者に対するきめ細やかな相談・支援を実施して待機児童の解消を図ります。	●多様な保育事業に関する情報提供の実施	

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標	
			現状 令和3（2021） 年度	令和4～7（2022～2025） 年度
地域コミュニティ活性化の推進				
	市民活動等支援事業	市民活動コーナーの運営や市民活動団体同士の交流を促進し、区内の市民活動と区民の主体的な取組を促進します。	●幸区市民活動コーナーを利用者の会と協働で運営	
	幸区多文化共生推進事業	外国人市民の生活に必要な情報の提供や多文化フェスタ等の開催を通じて市民同士の相互理解を深め、多文化共生意識を高めます。	●多文化共生の理解や関心を深めるための事業の実施	
	市民館コミュニティ推進事業	さまざまな区民が参加し交流するコミュニティ推進事業を通じて、区民同士の交流と、地域活動をはじめるきっかけづくりを行います。	●コミュニティ推進事業を通じた区民同士の交流促進	
	区民祭開催経費	地域に密着した事業である幸区民祭の開催を支援し、新旧区民の交流と連帯を深め、地域コミュニティの活性化を進めます。	●「幸区民祭実行委員会」への経費補助を通じた区民祭の開催支援	
安全で安心に暮らせるまちづくりの推進				
	地域防災活動推進事業	幸区災害対策協議会の運営等を通じて、地域住民や企業、関係団体・機関等間で情報共有・課題検討などを行い、地域の防災活動に関する連携強化の取組を進めます。	●地域住民に加え、企業、関係団体・機関等からなる「幸区災害対策協議会」を中心とした防災対策の推進	
	安全・安心まちづくり普及啓発事業	街頭キャンペーンの開催、町内会等と連携した防犯パトロールの実施などを通じて、地域に根ざした啓発活動を進めます。	●地域の防犯意識の醸成 ●子どもの安全確保に向けた地域見守り活動の推進 ●啓発活動の実施	
区役所サービス向上事業				
	区民に身近な区役所づくり推進事業	区役所窓口の利便性の向上や、満足度の高いサービスの提供を推進します。	●庁舎等の環境整備や職員研修、サービス向上委員会等の取組推進	
	さいわい区民アンケート事業	区政に対する区民の意識を多面的に調査し、今後の区政運営や地域課題の解決に向けた参考としていきます。	●区民アンケート調査の実施	
地域課題対応事業その他事業				
	幸区提案型協働推進事業	地域課題の解決に向け、公益性の高い事業を実施できる市民活動団体等から事業提案を募集し、行政と提案団体との協働により事業を推進します。	●事業の提案募集及び審査・決定 ●事業の実施 ●事業の評価	
	その他経費	幸区地域課題対応事業の効率的・効果的な推進を支えるため、必要となる事務・管理運営を行います。	●地域課題対応事業を支える事務等の実施	
区の新たな課題即応事業				
	区の新たな課題即応事業	年度途中で新たに発生する課題に、適切かつ迅速に対応する事業を実施します。	●新たに発生する課題に対する、適切かつ迅速な対応	